

国際教養学部平成二十三年度 卒業研究タイトル一覧

1. 英語

| | |
|--------|---------------------------|
| 加藤 ともみ | ナショナル・トラスト |
| 小酒井 杏里 | 国際語としての英語 |
| 鈴木 泉帆 | 英国の小型自動車 MINI についての考察 |
| 鈴木 美波 | イギリスのファッションが教えてくれたこと |
| 田中 潤 | イギリスの食糧自給率増加の理由 |
| 仲井 優 | 『エコノミスト』 - その世界 - |
| 松井 佳奈 | ダイソン社の成功 |
| 山本 将太 | イギリスの交通 |
| 渡辺 あい | スターバックスの世界展開 - 成功への道 - |

2. ドイツ語

| | |
|--------|---|
| 安藤 美里 | 移民と共に生きる国 - ドイツと日本の移民政策 - |
| 大谷 彩月 | 環境先進国ドイツ - 日本人が見習うべきドイツ人の環境への配慮 - |
| 大橋 可奈 | 21世紀の女性の生き方を考える - 女性の社会進出と家族の在り方 - |
| 岡 那咲 | 永遠に愛されるグリム童話 - グリム兄弟の追求したメルヒェン - |
| 加納 侑季 | 移民国ドイツ - イスラムとの共存 - |
| 北村 麻美 | レニ・リーフェンシュタール論 - 美と政治の狭間で - |
| 斉藤 理佳 | アンネ・フランクの15年の生涯 - 一冊の日記に込められた想い - |
| 高木 千里 | 戦後責任と過去の克服 - 過去と向き合うドイツと日本 - |
| 八田 麻由美 | 『交響曲第九番二短調<合唱付き>』苦悩から歓喜へ - ベートーヴェンからのメッセージ - |
| 平松 美沙 | ヒトラーに抗した若者たち - ドイツの“良心”に呼び掛けたミュンヘンの白いバラ - |
| 村井 健太 | ユダヤ人と経済 - 歴史から経済を学んだヨーロッパのユダヤ人 - |
| 山口 英里 | アドルフ・ヒトラー 浮浪者から政治家までの道のり - その性格形成と思想形成 - |

3. フランス語

| | |
|-----------|--|
| 伏石 有希 | 憧憶のゆくえ |
| 林 ジェフェルソン | ジャン・コクトーの映画に見られるコクトーらしさ |
| 堀井 映里 | 社会に潜む性差別をめぐって - 就職活動の際に女子大学生の前に立ちちはだかるジェンダーの壁 - |
| 道下 達也 | オスマニザシオンの賛否 |
| 大森 みゆき | ケルト復興 |
| 高橋 梨沙 | フランス、日本から見る食文化の成立 |
| 渡辺 摩莉花 | 日本におけるヨーロッパのお城のイメージと現実 - 憧れによってつくりあげられたお城像 - |
| 山本 隼人 | 聖母マリア信仰とカトリック教会の戦略 |

4. ロシア語

| | |
|--------|----------------------------------|
| 岡田 美由紀 | ロシア刺繍と農民 - 刺繍に見るコスモロジー - |
| 二宮 紗希子 | 日本とロシアの昔話 - 登場人物の設定からみた構造比較 - |

5. 中国語

| | |
|-------|--------------------------|
| 青山 真由 | 中国の英語教育に学ぶ |
| 浅野 瑛美 | 中国産食品とどう向き合っていくか |
| 大本 遥 | 東日本大震災での事例からみる日中の家族観 |
| 木下 美穂 | 中国の二セモノ事情 |
| 熊澤 理沙 | C - P O Pからみる台湾人の性格 |
| 柴田 優 | 劉曉波を通してみる中国民主化 |
| 鈴木 友香 | 中国トイレ事情 |
| 谷 美幸 | 豊橋市と中国南通市との友好都市交流に関する一考察 |

6. スペイン語

| | |
|--------|--|
| 内野 有香 | キリスト教の日本布教 |
| 小野田 雅 | スペインと日本における教育の比較 |
| 兼子 彩 | ヒスパニック |
| 岸 美津穂 | スペインの食文化 |
| 小池 麻莉 | 世界の太陽光発電ビジネス |
| 小林 優美 | スペイン料理の歴史と多様性 |
| 小森 友希代 | チョコレートはなぜ人々に愛され続けるのか - チョコレートの伝播と変容 - |
| 後藤 理央 | 神話からみる古代メソアメリカ社会の精神世界 - 日本神話との比較 - |
| 鈴木 敬太 | 「市民」としての日系南米人 - 多文化共生社会に向けて - |

| | |
|--------|---|
| 鈴木 真帆 | 多文化共生社会形成にむけて - 外国にルーツをもつ子どもたちが抱える問題を考える - |
| 高木 寛幸 | バルセロナ - 歴史と言語 - |
| 中山 仁美 | メキシコ壁画運動の意義 |
| 原田 祐希 | 日本人とスペイン人, 国民性の違いとは? - 東洋・西洋の視点から - |
| 半田 尚子 | 言語間に生じるキャラクタの齟齬 |
| 日比野 美紗 | 世界色めがね紀行 |
| 松下 愛美 | フランシスコ・フランコ - 独裁者の実像 - |
| 三浦 佑実 | 日本人の“恥”の意識 |
| 山■ ひとみ | スペインにおける3宗教の共存 - キリスト教・イスラム教・ユダヤ教 - |

7. 思想文化

| | |
|--------|---|
| 小栗 麗樹 | 学習意欲格差とその是正に向けて |
| 加地 麻衣子 | 舞踊における身体の知覚 |
| 後藤 峻作 | 人間の営みと環境倫理 - 持続可能な社会の実現に向けて - |
| 佐々木 麻希 | 武士道と騎士道 |
| 塩田 紗希 | 自己・中絶・トランスジェンダー - 自己決定権をめぐって - |
| 鈴木 真美 | 生殖医療の発展とそれに伴う問題 |
| 中嶋 香澄 | 現代の脳死と臓器移植問題について |
| 中野 真男 | 能動的な「愛」について - 哲学・宗教・『エヴァンゲリオン』をめぐる考察 - |
| 中村 鮎美 | 学力格差を縮めるあるべき教育 |
| 平井 彩子 | 色とは何か |

8. 歴史文化

| | |
|----------|---------------------------|
| 神谷 由香 | ロココ様式とその担い手たち |
| 藤田 敦子 | スペインにおけるユダヤ人迫害 |
| 間瀬戸 フラビオ | 日系移民の歴史 - ブラジルを中心として - |
| 村上 さゆり | ファラオからみた古代エジプトの歴史 |
| 森澤 大位 | ヴァイキングとその世界 |
| 山田 千尋 | 中世の大聖堂 |

9. 国際社会

| | |
|--------|-------------------|
| 平岩 朝美 | 日本における多文化共生主義の裏と表 |
| 島野 沙希子 | カナダの多文化主義における言語教育 |

| | |
|--------|-------------------------------------|
| 西村 勇紀 | アフーマティブ・アクションは人種差別の是正に貢献したのか |
| 清水 裕登 | [ドイツ] 多文化社会のための教育制度の実態と必要性 |
| 林 亮太 | 恒久社会運動としての多文化共生社会 |
| 森 美仁 | 日本の自助努力支援型ODAの有効性 |
| 水野 千冬 | ハワイの観光開発と日系人の役割 |
| 立道 昂平 | 中国における貧困 - 貧困の原因としての農村構造 - |
| 磯和 伊津季 | メキシコの農業政策と民間企業の可能性 - 作物転換を中心に - |
| 平松 沙織 | 世界銀行による貧困削減 - アフリカを中心に - |
| 今井 綾香 | 世界の食糧問題 - 世界飢餓を救う「緑の革命」の実態と有効性 - |
| 反中 健斗 | 多様化するフェアトレード |
| 今井 謙 | GNH概念による開発 - 幸福の指標化の必要性 - |